

あおぞら明朝

あおぞら明朝は、IPA P 明朝ベースの 7 ウェイト展開フォントです。

「あおぞら明朝」から得られる 3 つの効果

1. 日本語フリーフォントでは初の「極太」、稀な「極細」フォント、そして 7 ウェイト

作者の知る限り「日本語太明朝のフリーフォント」は無く、「日本語細明朝フリーフォント」は「和田研細明朝」程度でした。このためフリーフォントのみでの明朝体での表現は制約が大きく、商用フォントに頼らざるをえない状況でした。

しかし、あおぞら明朝は日本語フリーフォントでは初の極太フォント「あおぞら明朝 Black」と「あおぞら明朝 Thin」を含みます。よって、かつてない明朝体の可能性とデザインの表現を、今後はフリーフォントを用いても行えるようになりました!

LaTeX に設定する「太明朝フォント」に設定すると効果抜群、効果観面です!

また、Black、Heavy、Bold、Medium、Regular、Light、Thin の 7 種類の太さがあります。商用フォントでは 7 ウェイト展開は極一般的ですが、フリーフォントでは知る限りわずかに「M+フォント」と「Rounded M+フォント」のみが 7 ウェイト展開で、選択肢が非常に少ないことがネックでした。しかし今、「あおぞら明朝」は新しく 7 ウェイトとして登場しました!

2. JIS 第 4 水準対応

IPA P 明朝ベースに制作されたということは、収録文字も IPA P 明朝ベースだということです。それはつまり、JIS 第 4 水準や機種依存文字を含む約 12000 文字を 1 ウェイトに収録することを意味します。

JIS 第 4 水準対応により、日本語のほぼ全ての漢字を収録しています。

3. 商用利用可能、改変可能

あおぞら明朝は IPA P 明朝のライセンスを継承します。よって商用利用可能で、なおかつ改変も条件付で可能です。Web フォントとして利用することも出来ます。(ライセンスの写しを記載する必要があります。)

同人だろうが商業だろうが個人利用だろうが何だろうが、再配布に当たらない場合は自由に使うことができます。再配布の場合は IPA フォントライセンスにより注意点があります。

表示サンプル

あおぞら明朝 Black	青天霹靂な菰野町周辺で Google を輾転反側し跳梁跋扈。
あおぞら明朝 Heavy	青天霹靂な菰野町周辺で Google を輾転反側し跳梁跋扈。
あおぞら明朝 Bold	青天霹靂な菰野町周辺で Google を輾転反側し跳梁跋扈。
あおぞら明朝 Medium	青天霹靂な菰野町周辺で Google を輾転反側し跳梁跋扈。
あおぞら明朝 Regular	青天霹靂な菰野町周辺で Google を輾転反側し跳梁跋扈。
あおぞら明朝 Light	青天霹靂な菰野町周辺で Google を輾転反側し跳梁跋扈。
あおぞら明朝 Thin	青天霹靂な菰野町周辺で Google を輾転反側し跳梁跋扈。



The image shows a screenshot of a Wikipedia article titled "ねずみはこわい" (Slap Happy Lion). The article content is displayed in various font weights and sizes, demonstrating the effect of the "あおぞら明朝" font family. The sidebar on the left contains standard Wikipedia navigation links, also rendered in the specified font style.

図 1:Wikipedia の例(ユーザースタイルシート&MacType)